

2020 オリンピック 瀬戸大也 選手の東京五輪出場が内定しました！



毛呂山町出身の瀬戸大也選手が、韓国光州で行われた世界水泳選手権で下記の記録を残し、2020年東京オリンピックへの出場が内定しました。

7月24日 **銀** メダル
200 m バタフライで 記録：1分53秒86 **自己ベスト**

7月25日 **金** メダル
200 m 個人メドレーで 記録：1分56秒14

7月28日 **金** メダル
400 m 個人メドレーで 記録：4分8秒95



7月29日、韓国から帰国し、羽田空港で複数のメディアから囲み取材を受けた瀬戸選手。記者から「地元毛呂山町は、瀬戸選手にとってどんな思いが詰まった場所ですか？」と質問されると、

「自分が社会人になるまでずっとそこで過ごしてきたので、本当に大好きな町です。試合前には毎回、出雲伊波比神社にお参りしに行き、試合後にはお礼参りをしに行きます。帰るたびパワーをもらえ

る町です。地元の方々にパブリックビューイングもやっていただいて、みんなに応援していただけて嬉しいです。」と、にこやかに答えられました。

「毛呂山町に恩返ししたいことはありますか？」と質問されると、「自分が活躍することで『けろやままち』ではなく『もろやままち』だと多くの人に認識してもらえたらいいですね。(毛呂山町は)埼玉の田舎のほうなんですけど、そこから初のオリンピックチャンピオンに自分になれるならすごく誇りですね。」と来年の東京オリンピックに向けた自信を見せてくれました。



パブリックビューイングの様子

7月24日、「瀬戸大也選手を応援する会」主催で毛呂山町東公民館にてパブリックビューイングを開催しました。午後8時50分頃から、200 m バタフライ決勝と、200 m 個人メドレー準決勝に挑む瀬戸選手の勇姿を会場のみなが一丸となって応援しました。

